

令和2年度 第7回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和2年9月8日（火） 10時30分から11時00分まで

開催場所：A203・204 会議室

出席者：牧野市長、木下副市長、代田教育長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、米山リニア用地担当参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、星野産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長、串原市長公室長、田中危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、今村教育次長、青木地域人育成担当参事、赤羽目消防長、塚平財政課副参事、原田秘書広報課長、田中企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

新型コロナウイルス感染症への緊急対策事業第5弾について、それぞれの立場でご尽力いただいたことに感謝申し上げます。

飯田らしい新たな日常を形成していくためには、コロナへの感染対策を引き続き進めるとともに、経済活動や地域活動を再開できるよう考えていく必要がある。県内では北部を中心に感染が拡大している状況で、この地域でもいつ感染が拡大してもおかしくない状況であるが、春先からさまざまな地域行事が中止や延期、規模の縮小といった対応を迫られており、飯田の最も大切にしている「結いの力」が発揮されづらくなっている。ウィズコロナ・アフターコロナの時代においても、「結いの力」を高めながら、飯田の魅力を内外に発信していく必要があると考えている。一つの行事をやめるのは簡単で、再開するにはかなりのエネルギーが必要になるが、新たな日常を形成していくために再開に向けてそれぞれの立場で取組を進めていただくようお願いしたい。

<副市長>

市議会第3回定例会の各委員会等への対応に感謝申し上げます。また、明日から一般質問が始まるので、しっかりと準備をして臨んでいただくようお願いしたい。

新型コロナウイルス感染症に対する支援事業を幅広く進めているところなので、今一度進捗状況等を確認していただき、滞りなく事務を進めていただくようお願いしたい。

<教育長>

今年度も上半期が終わろうとしているが、今年は新型コロナウイルス感染症への対応に追われ、各部署で例年とは大きく異なる状況であったと思う。さまざまな試練があったと思うが、市民の皆さんとの対話の中で、コロナ禍だからこそ新たな気づきにつながったり本質的なものが見えたりしたものもあったのではと思う。教育委員会の事例で言えば、分散登校を行ったことで、不登校になりがちな子どもが登校できるようになり、通常登校となった今でも登校できるようになっている状況がある。

このコロナ禍で見た新しい視点というものをそれぞれの立場で今後の取組に活かしていただきたいと思う。前の状態に戻るということではなく、コロナ禍を踏まえて創造的復興ができるように、下半期や来年度に向けて考えていただくようお願いしたい。

2 報告事項

(1) 令和2年度議会報告・意見交換会の開催について（議会事務局）

◇趣 旨：飯田市自治基本条例に規定されている「開かれた議会運営」また「議会への市民参加の推進」を果たすための取組と位置づけ、市民の声を政策づくりに反映できるように取り組むことを目的として、9月30日から10月9日までの7日間、議会報告・意見交換会を開催する。

◇論点・課題

- ・新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、例年2時間で開催していたものを75分に短縮するとともに全体会を開催せず分科会のみで開催とする。また、各会場に定員を設けて混雑しないように配慮する。
- ・分科会は常任委員会ごとにテーマを設定し意見交換を行う。

◇主な意見等

(市民協働環境部長) まちづくり委員会連絡会からの意見もあるので、事前にまちづくり委員会と議員の皆さんとで打ち合わせをしていただく必要があると思う。

(議会事務局長) 議会側もまちづくり委員会の意向に配慮して進めていくよう考えている。

(2) 飯田市議会全員協議会 (9/23) における報告事項について (総合政策部)

◇趣 旨： 9月23日に開催予定の飯田市議会全員協議会で予定されている案件1件を報告する。

◇主な意見等

特になし

3 連絡事項

・令和2年度飯田市長寿企業顕彰事業について (産業経済部)

- ・この事業は、長期にわたり継続して経営している企業を顕彰し、今後の地域経済のさらなる発展につなげることを目的として平成26年度より実施している。今年度は過日開催した審査委員会により13者を顕彰することが決定した。

4 閉 会